

若桜町長コメント

若桜町民の皆さまへ

この度若桜町は、約3割の町民の皆さまが加入する「全国健康保険協会鳥取支部（協会けんぽ）」と「若桜町民の健康づくり事業に関する包括連携協定」を締結しました。

本町は、鳥取県内でも特に肝臓がんや肺がんの死亡率が高い傾向にあります。また、高血圧の治療を受けている人が多く見受けられます。このような生活習慣病を早期に発見し、治療に結びつけるための有効な手段が健診です。本町の受診率は県内市町村の中でも高水準です。しかし、働き盛り世代や男性の受診率が低い傾向にあるため、健康意識を高めることや、受診率のさらなる向上も課題です。

このような状況を改善するため、町民や協会けんぽ加入者の健康づくりや医療費の適正化を目指し、両者が手を取り合い、健康づくりのための広報や健診の受診勧奨を行っていきます。

協会けんぽとの連携による働き盛り世代の健康づくりを効果的に行うことで、高齢期を迎えてからの健康・介護の課題の解決にもつながります。

若桜町国民健康保険、後期高齢者医療、協会けんぽの加入者を合わせると町民の約8割となります。お互いが持つ医療費データや健診データを分析することで、本町の健康課題をより精度高く見つけ出すことができることも、この協定締結によるメリットだと考えます。

今後も、地域特性に合わせた効果的な健康づくりを推進し、町民に寄り添い町民同士が助け合える町づくりを目指していきます。



若桜町長 小林 昌司



鳥取県若桜町